



## 2022年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月12日

上場会社名 株式会社グッドスピード 上場取引所 東  
 コード番号 7676 URL <https://goodspeed-group.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 久統  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松井 靖幸 TEL 052 (933) 4092  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年9月期第3四半期の連結業績（2021年10月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	39,893	24.6	502	68.6	319	93.6	176	△4.1
2021年9月期第3四半期	32,007	-	298	-	165	-	183	-

(注) 包括利益 2022年9月期第3四半期 176百万円 (△4.1%) 2021年9月期第3四半期 183百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第3四半期	54.69	53.80
2021年9月期第3四半期	60.08	59.19

(注) 2021年9月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2021年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第3四半期	26,887	2,200	8.1
2021年9月期	21,995	1,806	8.2

(参考) 自己資本 2022年9月期第3四半期 2,182百万円 2021年9月期 1,796百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年9月期	-	0.00	-		
2022年9月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	34.0	1,000	64.4	770	72.8	460	20.5	135.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年9月期3Q	3,331,700株	2021年9月期	3,125,900株
② 期末自己株式数	2022年9月期3Q	52株	2021年9月期	24株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年9月期3Q	3,219,921株	2021年9月期3Q	3,055,631株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、急激な円安進行の影響を受けながらも、新型コロナウイルス感染症による活動制限が緩和され、国内経済はゆるやかに持ち直しております。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化等による原材料価格の上昇や金融資本市場の変動による下振れリスクにより、景気の先行きは不透明な状態が続くと見込まれております。

このような環境のなか、中古車業界におきましては、世界的な半導体不足と、新型コロナウイルス感染症の流行によるロックダウンの影響で生産工場が稼働停止したことなどによる新車販売減少の影響を受け、中古車流通も停滞したため、2021年10月から2022年6月までの国内中古車登録台数は、2,712,252台（前年同期比7.3%減）と前年同期間を下回る結果となりました。（出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計データ）

このような厳しい状況の下、当社グループにおきましては、2021年12月に岐阜県岐阜市にグッドスピード車検岐阜店、2022年2月にグッドスピードMEGA SUV豊川御油店、2022年3月に静岡県浜松市にCHAMPION 76浜松店、2022年4月に岐阜県大垣市にCHAMPION 76大垣店、愛知県豊川市にCHAMPION 76豊川御油店をオープンするなど、車、バイクにおける新車・中古車販売の拡大及び買取や整備・钣金・ガソリンスタンド、レンタカーサービス、保険代理店サービスを強化し、顧客の車に関する需要に対し、ワンストップでサービスを提供できる体制作りを積極的に進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、39,893百万円（前年同期比24.6%増）、営業利益は502百万円（前年同期比68.6%増）、経常利益は319百万円（前年同期比93.6%増）となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間に株式会社チャンピオンのM&Aに伴う特別利益111百万円の発生があったため、前年を下回り176百万円（前年同期比4.1%減）という結果となりました。

なお、当社は、自動車販売及びその附帯事業の単一セグメントのため、サービスごとの経営成績の内容を記載しており、セグメントごとの記載はしていません。

#### (自動車販売関連)

当第3四半期連結累計期間は、前第3四半期以降に出店したMEGA専門店3店舗が寄与し、小売販売台数は、10,835台（前年同期比17.2%増）となりました。加えて買取専門店とバイク販売店が寄与し、当第3四半期連結累計期間における売上高は37,278百万円（前年同期比24.6%増）となりました。なお、新車・中古車販売、買取を自動車販売関連としております。

#### (附帯サービス関連)

販売台数の増加と整備工場新設により、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,615百万円（前年同期比24.6%増）と好調に推移しました。なお、整備・钣金・ガソリンスタンド、保険代理店、レンタカーを附帯サービス関連としております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は16,514百万円で、前連結会計年度末に比べ3,558百万円増加しております。主な要因は、商品が2,295百万円、売掛金が707百万円、現金及び預金が457百万円増加したことなどによるものであります。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は10,372百万円で、前連結会計年度末に比べ1,333百万円増加しております。主な要因は、建物が495百万円、建設仮勘定が455百万円、有形固定資産のリース資産が203百万円及び構築物が135百万円増加したことなどによるものであります。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は18,567百万円で、前連結会計年度末に比べ3,251百万円増加しております。主な要因は、短期借入金が2,988百万円、1年内返済予定の長期借入金が525百万円増加したことなどによるものであります。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は6,119百万円で、前連結会計年度末に比べ1,246百万円増加しております。主な要因は長期借入金が964百万円及びリース債務が236百万円増加したことなどによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,200百万円で、前連結会計年度末に比べ394百万円増加しております。主な要因は資本金が166百万円及び資本剰余金が166百万円増加したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在のところ概ね計画通りに進捗していることから、2021年11月12日に「2021年9月期決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はございません。今後の進捗状況等に応じ、精査の上、開示すべき事象が生じた場合には速やかに公表いたします。なお、当該業績予想は本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,476,637	1,934,093
売掛金	2,405,378	3,112,833
商品	8,088,098	10,383,942
貯蔵品	1,987	2,263
前払金	679,489	704,078
前払費用	186,838	162,234
その他	117,904	215,545
流動資産合計	12,956,334	16,514,991
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,363,029	4,858,146
構築物（純額）	889,973	1,025,182
機械及び装置（純額）	96,808	87,431
車両運搬具（純額）	102,955	39,712
工具、器具及び備品（純額）	290,555	288,076
土地	1,487,285	1,487,787
リース資産（純額）	321,261	525,055
建設仮勘定	353,591	809,445
有形固定資産合計	7,905,461	9,120,837
無形固定資産		
のれん	72,565	57,570
ソフトウェア	18,054	16,617
リース資産	100,234	114,267
その他	103	3,430
無形固定資産合計	190,958	191,885
投資その他の資産		
出資金	838	868
保証金	711,972	771,217
長期前払金	78,436	96,071
長期前払費用	11,445	12,830
繰延税金資産	74,350	108,037
その他	65,859	71,246
投資その他の資産合計	942,903	1,060,271
固定資産合計	9,039,323	10,372,995
資産合計	21,995,657	26,887,986

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,715,730	1,071,619
短期借入金	9,805,771	12,794,761
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	1,763,597	2,289,342
リース債務	92,745	135,788
未払金	120,318	142,438
未払費用	210,557	264,144
未払法人税等	191,534	53,963
前受金	1,146,931	1,240,534
預り金	70,903	96,643
返金負債	-	188,306
賞与引当金	108,805	76,860
役員賞与引当金	8,070	-
その他	20,533	153,075
流動負債合計	15,315,498	18,567,476
固定負債		
社債	30,000	-
長期借入金	4,060,093	5,024,490
リース債務	368,518	604,775
繰延税金負債	23,654	33,302
資産除去債務	24,868	25,026
長期前受金	366,224	431,965
固定負債合計	4,873,359	6,119,560
負債合計	20,188,858	24,687,037
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	441,806	608,287
資本剰余金	460,772	627,254
利益剰余金	893,959	946,582
自己株式	△53	△112
株主資本合計	1,796,484	2,182,012
新株予約権	10,315	18,936
純資産合計	1,806,799	2,200,948
負債純資産合計	21,995,657	26,887,986

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
売上高	32,007,761	39,893,554
売上原価	27,091,147	33,265,965
売上総利益	4,916,614	6,627,589
販売費及び一般管理費	4,618,392	6,124,895
営業利益	298,221	502,693
営業外収益		
受取利息	1,221	1,006
受取配当金	14	0
協賛金収入	2,727	-
受取手数料	7,241	4,695
販売協力金収入	4,950	4,000
受取補償金	6,500	-
その他	7,083	9,869
営業外収益合計	29,737	19,571
営業外費用		
支払利息	88,986	139,656
支払手数料	73,888	62,767
その他	54	283
営業外費用合計	162,928	202,707
経常利益	165,030	319,557
特別利益		
負ののれん発生益	111,916	-
固定資産売却益	-	7,336
特別利益合計	111,916	7,336
特別損失		
固定資産除却損	639	1,034
特別損失合計	639	1,034
税金等調整前四半期純利益	276,308	325,860
法人税、住民税及び事業税	78,393	119,352
法人税等調整額	14,321	30,406
法人税等合計	92,714	149,758
四半期純利益	183,593	176,101
親会社株主に帰属する四半期純利益	183,593	176,101

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	183,593	176,101
四半期包括利益	183,593	176,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183,593	176,101
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使により、当第3四半期連結累計期間において資本金が166,481千円、資本剰余金が166,481千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が608,287千円、資本剰余金が627,254千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、ローン販売で計上する手数料売上高のうち、将来の早期返済により見込まれる返金額を除いた額を売上高として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,755千円、売上原価は14,405千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,649千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は123,478千円減少しております。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。